

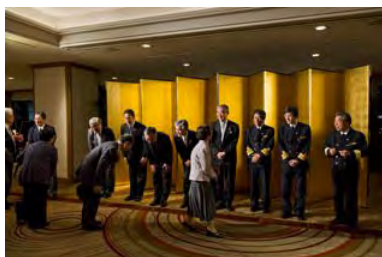
Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

出航前夜祭パーティー

Date : 2015/04/03 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 霧雨 気温 : 18.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



今回は、飛鳥の世界一周クルーズ20回目を記念して、出航前夜祭パーティーが横浜ロイヤルパークホテルの鳳翔の間で開かれました。パーティーは、飛鳥Ⅱの名誉船長である加山雄三さんのスペシャルステージで締めくくられ、ラストの「海よ」～「マイ・ウェイ」に差し掛かると、会場は一気に盛り上がり、もう夢心地の世界です。参加者の皆さんはというと、加山さんの素敵な歌声に耳を傾けながら、明日から始まるクルーズに思いを馳せているようでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

2015年世界一周クルーズ出港

Date : 2015/04/04 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 曇り 気温 : 14.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



飛鳥Ⅱは大勢の人々に見送られ、予定通り横浜大栈橋を正午に出港しました。いよいよ2015年世界一周クルーズの幕開けです。さて、今回はどのようなドラマが待っているのでしょうか。皆さん期待に胸を膨らませていることと思います。

見送りの皆さん、肌寒い中、本当にありがとうございました。

東京湾を出てしばらくすると、徐々に日が暮れていき、船内では恒例の鏡開きがアスカプラザで行われました。集まった皆さんには升酒が振舞われ、全員で航海の無事を祈り「乾杯！」



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

キャプテンズ・ウェルカム・パーティー

Date : 2015/04/05 緯度 : N 30度 43分 経度 : E 134度 11分 天気 : 霧 気温 : 21.5度 速度 : 17.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今夜のドレスコードは今クルーズ初のフォーマルです。ギャラクシーラウンジには、早くから和服やイブニングドレス姿の淑女の皆様、そしてタキシードやダークスーツできめた紳士の皆様が集まり、とても華やかな雰囲気になっていました。

キャプテンズ・ウェルカム・パーティーでは、中村大輔船長からの挨拶とシニアオフィサーの紹介がありました。

ディナーの後、ギャラクシーラウンジでは、今クルーズ初のゲストエンターティナーとして田辺靖雄さんと九重佑三子さんのコンサートが行われました。さすがにおしどり夫婦として知られているだけに、とても息の合ったデュエットと絶妙なトークが、皆さんの心をわしづかみにしていました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

沖縄近くを航行中

Date : 2015/04/06 緯度 : N 26度 11分 経度 : E 127度 50分 天気 : 曇り 気温 : 25.0度 速度 : 18.3ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



私はこのフォトエッセイを担当すると同時に、クルーズ中の写真教室も受け持っています。色あせることのない大旅行の思い出をそのまま日本に持って帰られるように、とっておきの写真の撮り方をお伝えしようと思います。

昼食前にデッキ後方へ出てみると、ちょうど沖縄本島の沖合約8キロを航行中とのアナウンス、右舷には薄っすらと陸地が見えています。東京湾を出てからずっと圏外を示していた携帯電話が繋がって、船内では珍しく電話をかける人の姿も見受けられました。

そして夕方には、初乗船者を招いてパーティーが開かれました。該当する方は約120名と非常に多かったのですが、皆さんとても気さくな方ばかりで、すでに3日目ということもあり、オフィサー達となごやかに話をする姿が印象的でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

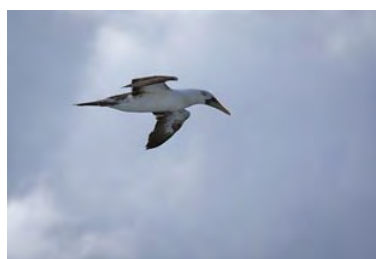
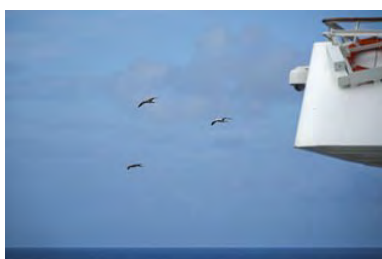
カツオドリとシングلز・パーティー

Date : 2015/04/07 緯度 : N 21度 22分 経度 : E 121度 49分 天気 : 晴れ 気温 : 27.0度 速度 : 18.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



朝、部屋の外を何かが横切ったので、慌ててバルコニーに出てみると、カツオドリが3羽飛んでいました。3羽ともしばらく並航していたのですが、突然海面に降下して、見事にトビウオを咥えます。なるほど、大きな船にビックリしたトビウオが飛び出して来るのをずっと狙っていたのですね。

夕方、シングلز・パーティーが開かれるというので行ってみると、大勢の方が参加していました。一人で乗船されている方たちは、これからお互い長い時間を過ごすわけで、こういう機会に友達を作っておくことがロングクルーズを楽しむ秘訣と心得てらっしゃるようです。後半にはくじ引き大会も行われ、当選者はオフィサーと同じテーブルで食事ができるということで、たいへん盛り上がりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

動物たちに学ぶ自然環境

Date : 2015/04/08 緯度 : N 16度 12分 経度 : E 116度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 18.7ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



江戸家猫八師匠（左下）は、鳥や動物の鳴き声をまねるだけではなく、自然環境にも非常に深い関心をお持ちで、ガラパゴス諸島にまで足を延ばしたことがあるそうです。今回は「動物たちに学ぶ自然環境～鳴きまねと伝統芸で語る」という講演で、定番の芸を織り混ぜながら地球上の環境についての話や、楽しい体験談などもご披露いただき、あまりの面白さに、見ている方も笑顔が絶えませんでした。夜には、田辺靖雄さんと九重佑三子さん（上）の二回目のコンサートがあり、今回は「ヘイ・ポーラ」や「コメットさん」といった懐かしいナンバーが披露され、前回同様大いに盛り上がりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

南シナ海を航行中

Date : 2015/04/09 緯度 : N 16度 15分 経度 : E 116度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 18.7ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



船はベトナム南部の沖合に達しました。さすがに熱帯ですから、湿度が高くとても蒸し暑いです。いつもは和食が中心のフォーシーズン・ダイニング・ルームの昼食ですが、今日のメニューはフォーでした。ご存知かと思いますが、ベトナムの国民食と言われるフォーは、ベトナム料理を代表するメニューのひとつです。同じく、ベトナム料理の揚げ春巻きも一緒にいただき、暫しの間ベトナム気分になりました。

午後のひとときは、パームコートでコーヒードリンク。ピアノ講師として乗船されている門真帆さん（左下）のピアノ演奏に癒されます。そして夜は飛鳥Ⅱの専属マジシャンSaiqawa氏に（右下）によるプロダクションショー「DIAMONDS ダイヤモンド」で、スリリングなひとときを過ごすことができました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

チャイニーズティータイム

Date : 2015/04/10 緯度 : N 10度 45分 経度 : E 111度 17分 天気 : 晴れ 気温 : 29.5度 速度 : 17.5ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は写真教室の第一回目が終わり、ホッとしたところで、パームコートに用意されていたジャスミンティーと中国菓子をいただきました。南国の太陽の下でいただくジャスミンティーというのもまた格別なものです。

夜は、江戸家猫八師匠の「猫とピアノとヴァイオリン Part2」が行われ、さらにグレードアップした動物の鳴き声に、吉田直矢さんのやわらかくもエネルギッシュなヴァイオリンの音色と、斉藤美香さんの繊細かつメリハリの効いたピアノ演奏が重なり合う様に感動しました。ラストは「故郷」のメロディーに乗せて、里山に住む生き物の鳴き声が披露され、今宵のステージはおひらきとなりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

シンガポール

Date : 2015/04/11 緯度 : N 1度 16分 経度 : E 103度 45分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : シンガポール



シンガポールに近づくに従って、だんだん他船とすれ違うことが多くなりました。そのほとんどがタンカーや貨物船です。東西貿易の要衝シンガポールならではの光景ですね。

正午、飛鳥Ⅱがハーバーフロントのシンガポールクルーズセンターに到着すると、私はすぐさま地下鉄に乗りこみチャイナタウンへ向かいました。何しろ陸に上がるのは一週間振りですから、思う存分歩き回ろうと思ったわけです。ところが、時間というのはあっという間に過ぎてしまうもので、結局、チャイナタウンとマーライオンを見ただけで終わってしまいました。

夜はマレーの伝統舞踊や中国の変面など、多様な文化を持つシンガポールならではのローカルショーが行われ、皆さんも満足のご様子でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

マラッカ

Date : 2015/04/12 緯度 : N 2度 10分 経度 : E 102度 14分 天気 : 曇り 気温 : 31.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : マラッカ



昨夜9時にシンガポールを出港した飛鳥IIは、朝7時にマラッカ沖に到着、投錨を行いました。
マラッカ旧市街には、古い街並みや歴史的建造物がそのままの姿で残っていて、ペナン島のジョージタウンとともに世界文化遺産に登録されています。その街並みの中を、トライショーと呼ばれる派手な装飾の人力車が走る姿は、マラッカならではの光景と言えるでしょう。ツアーに参加された方々も、タイムスリップしたようなマラッカの街並みをトライショーの上から楽しんでいらっしゃいました。
夜は大萩康司さんのクラシックギターコンサートがギャラクシーラウンジで行われ、暑さで疲れた皆さんの心を、美しい音色で癒してくれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ペナン島に到着

Date : 2015/04/13 緯度 : N 5度 25分 経度 : E 100度 21分 天気 : 晴れ 気温 : 33.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ペナン



いよいよペナン島に近付いてくると、島で最も高いビルディング「コムター」と、有名なコロニアルホテルの「イースタン&オリエンタル」が見えて来ます。隣のご婦人が「昔からある有名なホテルはどれかしら？」と私に尋ねるので、指で示したところ感慨深そうに眺めていらっしゃいました。聞けば、40年前に宿泊したことがあるというお話で、おそらく当時のことを思い浮かべていたのでしょうね。

ペナン島は、18世紀末にイギリスの植民地となり、プリンスオブウェールズ島という名称に改められると、街はジョージ3世にちなんでジョージタウンと名付けられました。当時の面影や痕跡は、今も街のいたるところに残っていて、色褪せた建物が連なる裏通りを歩くと、19世紀頃にタイムスリップしたような錯覚に陥ってしまう、そんな素敵な街です。

夜になると、ペナンのローカルショーがギャラクシーラウンジで行われ、マレーシアの伝統衣装を着た男女が、いまどきのポップなリズムに乗って、元気いっぱいのダンスを披露してくれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

E&Oホテルとペナンヒル

Date : 2015/04/14 緯度 : N 5度 25分 経度 : E 100度 21分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ペナン



ペナン島の素敵な一夜を過ごした翌日、私は皆さんと一緒にツアーへ出かけることにしました。最初の目的地は、海沿いに建つ白亜のホテル、イースタン&オリエンタル (E&O) です。このホテルはサマセット・モームやジョゼフ・コンラッド、ラドヤード・キップリング、ヘルマン・ヘッセといった文豪を始め、多くの著名人が宿泊するなど、シンガポールのラッフルズ、バンコクのオリエンタルなどと並び、東南アジアでは格式の高いホテルとして知られています。ここでは、ペナン島の歴史を感じながら、海の見渡せる明るい部屋で優雅なブランチを楽しみました。

ブランチの後は、ペナンヒルへ向かいます。ペナンヒルでは、急な斜面を頂上までケーブルカーに乗って行き、そこで様々な国のの人たちと触れ合う機会がありました。山の上に到着すると、残念ながら飛鳥IIは肉眼でやっと見える程度でしたが、それでもマレー半島が一望できる景色に、皆さんも満足されたのではないのでしょうか。

夜は曹雪晶さんによる二胡の演奏会がギャラクシーラウンジで行われました。ヴァイオリンやチェロといった西洋楽器も良いですが、二胡特有の旋律と音色からは、アジア人の心の安らぎや温かさといったものが感じられると思います。本当に素晴らしいひとときを過ごすことが出来ました。



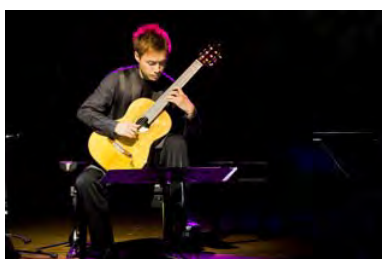
Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

昭和の偉人たちが愛した温泉

Date : 2015/04/15 緯度 : N 6度 15分 経度 : E 93度 22分 天気 : 曇り 気温 : 28.0度 速度 : 18.8ノット
海域 : インド洋 寄港地 : 終日航海日



アンダマン海を出た飛鳥Ⅱは、インド洋上をコーチンに向かって順調に航行中です。
午後には、山崎まゆみさんの「昭和の偉人たちが愛した温泉」というテーマの講演がありました。石原裕次郎がスキーで負傷して、湯治のため滞在したときの話など、興味深いエピソードの数々や、飛鳥Ⅱの大浴場で行う凝りが取れるストレッチ体操など、非常に盛りだくさんの内容でした。
夜は大萩康司さんのクラシックギターコンサート二回目です。今夜のドレスコードはインフォーマル。これからたくさんの国々を巡って行く飛鳥Ⅱにふさわしい様々な国の楽曲が奏でられ、ドレスやジャケットをお召しになった皆様と、まるで世界を巡っているようなコンサートでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

アジアndeッキディナー

Date : 2015/04/16 **緯度** : N 5度 59分 **経度** : E 85度 54分 **天気** : 晴れ **気温** : 31.5度 **速度** : 17.9ノット
海域 : インド洋 **寄港地** : 終日航海日



今日の夕食は恒例のデッキディナーです。今回はアジアndeッキディナーということで、アジア各国の料理がずらりと並びました。豚の丸焼きから、上海焼きそばといった一般的なもののまで、皆さん好きなものを好きなだけ食べられるとあって、笑顔が絶えません。そして、恒例のダンスタイムでは、民族衣装を着たクルーズスタッフとともに、開放的な雰囲気の中、大いに盛り上がります。最後は、曹雪晶さんのしっとりした二胡の演奏で、アジアの雰囲気にどっぷり浸かることができました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

クジラの潮吹き

Date : 2015/04/17 緯度 : N 6度 26分 経度 : E 79度 5分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 17.2ノット
海域 : インド洋 寄港地 : 終日航海日



朝、部屋でシャワーを浴びていたら、前方でクジラが潮を吹いているとアナウンスがありました。慌ててデッキに飛び出すと、かなり遠くの方でクジラが潮を吹いているのが見えます。朝食を食べている間にも、皆さんから「見えた！見えた！」と声が上がっていたので、かなり大きな群れだったのでしょうか。飛鳥Ⅱには、横揺れを防止するため、飛行機の翼のような形をしたフィンスタビライザーが付いているのですが、この時は、クジラに傷をつけないようフィンスタビライザーを格納して航行しました。ちょうどセイロン島の南を通過中の出来事です。

夕食の後は、ギャラクシーラウンジで曹雪晶さんによる二回目の二胡の演奏会が行われました。相変わらず素晴らしい演奏で、エンディングに「涙そうそう～花～島唄」といった沖縄の名曲がメドレーで披露されると、会場全体が琉球の世界へ誘われます。その後、パームコートで大萩康司さんによるクラシックギターのソロコンサートも開かれ、情熱的で甘いギターの調べとともに、夢のような一夜を過ごすことが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

コーチン

Date : 2015/04/18 緯度 : N 9度 58分 経度 : E 76度 16分 天気 : 晴れ 気温 : 32.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : コーチン



朝方、やけに静かだなと思ったら、窓の向こうに灯りが見えていました。飛鳥Ⅱは予定より少し早くコーチンに到着していたようです。

朝食後、入国審査を経て皆さんと市内観光へ出掛けます。船を降りると、早速大きな象が出迎えてくれました。ツアーバスは、植民地時代の面影を残すフォート・コーチン地区へ。1503年にポルトガル人によって建てられた聖フランシス教会には、大航海時代に活躍したヴァスコ・ダ・ガマが埋葬されていたという墓石が残っていました。そのまま海岸まで歩いて、今度はチャイニーズ・フィッシング・ネットを見学します。この四つ手網漁法は、中国の武将、鄭和が伝えたことからこの名で呼ばれていますが、最近の研究では、マカオのポルトガル人によって伝えられたことが判明したそうです。目の前で網を上げてもらえると、ボラやナマズなどの小さな魚が20尾ほど獲れていました。ツアーの最後には、通称ダッチ・パレスと呼ばれるマッタンチェリー宮殿を見学して船に戻ります。

夕方、コーチンを出港した飛鳥Ⅱから、フォート・コーチン地区が見えました。海岸には大勢の人が居て、よく見ると皆こちらに向かって手を振っています。コーチンの人々はとても人懐こく、穏やかな笑顔が印象的でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

船の上の演芸会

Date : 2015/04/19 緯度 : N 0度 0分 経度 : E 0度 0分 天気 : 快晴 気温 : 30.5度 速度 : 17.9ノット
海域 : なし 寄港地 : 終日航海日



今日からしばらくの間は終日航海が続きます。そんな中、須磨機関士による恒例のエンジニアトークがあり、普段は知ることの無い飛鳥Ⅱの裏話が聞けるとあって、大勢の皆さんがいらっしゃってました。船上生活にだんだん慣れてくると、何不自由なく過ごしていることが当たり前のようになってくるわけですが、実はその裏で色々なことが行われていて、例えば、毎日何げなく使用している水、飛鳥Ⅱの船内では、毎日600トンという膨大な量が海水から作られているそうです。600トンというのはドラム缶にするとだいたい3千本ということで、我々がいかにかたくさんの水を消費しているかがわかります。早速今日から節水を心がけようと思いました。

夜には、ギャラクシーラウンジで演芸会が開かれました。まずは、太神楽曲芸師（だいかぐらきょくげいし）の翁家勝丸さんが、お笑いトークを交えながらの曲芸を披露します。これが実に楽しく、曲芸の技も確かで素晴らしいものがありました。というのも、船というのは常に揺れていて、その不安定な中で芸を行うのはとても困難だからです。そして、いよいよ真打ち登場。古今亭志ん彌師匠のお話は、先日のコーチンに到着した時のエピソードから始まり、最後はちょっぴりお色気のある内容で締めくくられました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

東から西へ

Date : 2015/04/20 緯度 : N 0度 0分 経度 : E 0度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 29.5度 速度 : 17.6ノット
海域 : なし 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはこれから数日してアデン湾に入り、その後は紅海からスエズ運河を通峡するわけですが、その前に、遙か昔のインド洋から紅海、そして地中海を結ぶ古代ルートとはどのようなものだったのか？エジプトの考古学者、松本弥先生が説明して下さいました。

今回の飛鳥Ⅱ世界一周クルーズは、シンガポールから始まり、マラッカ海峡を通過してインドのコーチン、そして、紅海から地中海へと、今まさにかつての海上ルートを通っているわけですが、太古の昔、モンスーンに乗ってこのルートを帆船が行き交っていたことを思うと、ロマンを感じずにはられません。松本先生の説明によると、紅海から地中海への交易ルートは昔からいくつかあって、最も古いルートは今からおよそ5,000年以上前に作られたとか。そして、そのほとんどが紅海とナイル川を結ぶものだったそうです。

夜はブルース・ヒューバナーさんの尺八と諏訪光風さんのアコースティックギターのコンサートが催されました。着物姿のブルース・ヒューバナーさんが登場して演奏が始まると、突然場内の空気が一変します。東洋の尺八と西洋のギターという組み合わせが、神秘的で独特な雰囲気を出しているからでしょう。今まさに東から西へ向かっている飛鳥Ⅱにぴったりのコンサートでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

県人会と琉球の風

Date : 2015/04/21 緯度 : N 0度 0分 経度 : E 0度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 17.5ノット
海域 : なし 寄港地 : 終日航海日



今日は県人会の集まりがあるということで、ちょっと覗いてみることにしました。こうしたクルーズ中にも、いや、クルーズ中だからこそ、思いがけず同郷の人やご近所さんが見つかったりすると嬉しいものなのでしょうね。お互いローカルな話題で盛り上がったり、記念写真を撮ったり、皆さんとても楽しそうでした。

夜になると、ギャラクシーラウンジで普天間かおりさんのコンサートが行われました。

冒頭に普天間さんが琉球語で挨拶した時、私は何を喋っているのか理解出来なかったのですが、けっこう沖縄通の方がいらっしゃるのか、反応が良くてびっくりしてしまいました。三線の調べにのって、伸びやかな歌声が心地良く会場に響き渡ると、会場全体に穏やかな琉球の風が吹きました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

船の上の演芸会2

Date : 2015/04/22 緯度 : N 0度 0分 経度 : E 0度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 17.1ノット
海域 : なし 寄港地 : 終日航海日



今日はギャラクシーラウンジで、今クルーズ二回目の演芸会が開かれました。前回と同じく、トップバッターは太神楽曲芸師（だいかぐらきょくげいし）の翁家勝丸さんです。相変わらず笑いのツボを押さえたトークと芸に、皆さんも終始笑いっぱなしでした。そして、もちろん取りは古今亭志ん彌師匠です。今夜のお話は、飛鳥Ⅱのエピソードが満載で、聞けば船内のあちこちでネタを仕入れているとのこと。東京の寄席ではその日の演目は直前に決めるというのがお約束なのだそうです。飛鳥ネタの次は、江戸小話がいくつか披露され、最後はかっぽれで締めていただきました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

涙の門

Date : 2015/04/23 緯度 : N 0度 0分 経度 : E 0度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 34.5度 速度 : 17.6ノット
海域 : なし 寄港地 : 終日航海日



アデン湾を航行していた飛鳥Ⅱは、午前中にバブ・エル・マンデブ海峡にさしかかりました。アラビア語で「涙の門」という意味のこの海峡は、とても海流が強く、船乗り泣かせの海峡であったことから、この名がついたと言われています。右にアラビア半島、左にアフリカ大陸が望めるとあって、大勢の皆さんが約5日ぶりとなる陸の眺めを楽しんでいらっしゃいました。

夜はバリトン歌手の久保和範さんによるコンサートがギャラクシーラウンジで行われました。荒城の月から始まり、定番のイタリアの歌、そして本職のオペラの楽曲などが次々と披露されます。また、演歌歌手がオペラを歌うとどうなるか、というパフォーマンスもあり、皆さんに大ウケでした。ラストはミュージカルのナンバーで、惚れ惚れするような美声に皆さんもうっとり。紅海の最初の夜に相応しい、とても華やかなコンサートでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

アラビアンデッキディナー

Date : 2015/04/24 **緯度 :** N 0度 0分 **経度 :** E 0度 0分 **天気 :** 晴れ **気温 :** 28.0度 **速度 :** 16.7ノット
海域 : なし **寄港地 :** 終日航海日



横浜港を出港してから今日で21日目。早くも世界一周クルーズの五分之一を経過したことになります。そんな中、プールサイドでは恒例のデッキディナーが行われました。

今回は紅海上ということで、アラビア風の羊の丸焼きやサフランライスなどが並び、イベントも盛りだくさんの内容です。まずはフィリピン人バンド・ナマナの演奏でダンスタイム、そしてバリトン歌手の久保和範さんの歌、次に古今亭志ん彌師匠の小話があり、普天間かおりさんが歌い出すと、皆さん琉球式に踊り始めます。後半には、尺八奏者のブルース・ヒューバナーさんが蛇使いに扮したり、変身ショーやスタッフ同士のパイ投げがあったりと、これまで終日航海日が続いていただけたに、皆さんもスタッフと共に大いに盛り上がりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

飛鳥祭り

Date : 2015/04/25 緯度 : N 0度 0分 経度 : E 0度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 25.5度 速度 : 14.5ノット
海域 : なし 寄港地 : 終日航海日



さて、今夜は恒例の飛鳥祭りです。よさこい、竿灯、阿波、ねぶた、という日本4大祭りのパフォーマンスが、この紅海の洋上で見られるということで、大勢の方がプールサイドに集いました。もちろん、踊りに参加される皆さんにとっては、何日も前から練習してきた成果を披露する時です。始まる前から気合の入りかたが他の方たちとは違うわけですね。

本番では、普段このような催しものに参加する機会がなかったスタッフも加わり、素晴らしいパフォーマンスが繰り広げられました。そして最後は全員参加による盆踊りタイムです。

今宵、飛鳥IIのプールサイドは日本祭り一色となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

スエズ港

Date : 2015/04/26 緯度 : N 29度 54分 経度 : E 32度 32分 天気 : 晴れ 気温 : 20.5度 速度 : 14.4ノット
海域 : スエズ港 寄港地 : 終日航海日



夕方、飛鳥Ⅱはスエズ港内で投錨を行いました。デッキに出てみるとけっこう風が強く、その風がアスファルトの匂いを甘くしたような独特の刺激臭を運んできます。この辺りにはたくさんの油田があるので、もしかしたらこれが原油の匂いなのかも知れません。

夜は、尺八奏者のブルース・ヒューバナーさんとアコースティックギターの諏訪光風さんによる二回目のコンサートが行われました。今夜のブルースさんと諏訪さんは、まるで語り合うかのような非常にリラックスした演奏で、とても幸せな気分にしてくれます。途中から、インドの楽器シュルティボックスを持った小川クルーズディレクターが参加して、スエズの素敵な夜を演出してくれました。

夜、デッキに出てみると、海と砂漠が月明かりに照らされて、目の前にはたくさんの船が浮かんでいるという最高のロケーション。ロマンチックなアラビアンナイトを独り占めしているような気分でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

スエズ運河

Date : 2015/04/27 緯度 : N 29度 54分 経度 : E 32度 32分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 0ノット
海域 : スエズ運河 寄港地 : 終日航海日



朝のスエズ湾はとても穏やかで、油を流したようなつるんとした海面に、たくさんの貨物船が浮かび、時折りその合間を小さな漁船が通り抜けて行きます。

飛鳥Ⅱは今朝の5時30分頃に出港するはずでしたが、中村キャプテンの説明によると、当局からまだ何も連絡がなく、現在は南航船と呼ばれる地中海側からの船が運河を通峡中で、出港はその船団が通過した後になるということでした。スエズ運河は一方通行なので、南航船と北航船が交互に通峡するので。デッキでは、エジプトの保安要員が行商に早変わりして、出港までの間に買い物を楽しむ事が出来ました。そして夕方4時に抜錨した後、飛鳥Ⅱは5年ぶりのスエズ運河に入って行きます。夜7時からギャラクシーラウンジで予定されていた普天間かおりさんのコンサートも、スエズ運河の風景を楽しんでいただこうと急遽プールサイドで行うことに決定。のびやかな歌声と琉球のメロディがスエズの空に響き渡ると、砂漠の生暖かい風も心地良く感じられるようになりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

船の上の演芸会3

Date : 2015/04/28 緯度 : N 33度 9分 経度 : E 33度 48分 天気 : 晴れ 気温 : 21.0度 速度 : 14.0ノット
 海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



目を覚ますと、飛鳥Ⅱはすでに地中海上を航行していました。窓の外には地中海ブルーと呼ばれる青みの深い海原が広がっています。朝の航海情報では、スエズ運河北端のポートサイドから地中海へ出たのが午前2時と、かなり遅れてしまいましたが、予定どおり明日の午前7時にはロードス島へ到着するとの事でした。

そのロードス島に到着する前に「クレタ島、ロードス島、地中海文明の夜明け」と題して、谷岡清先生による2回目の講演が行われました。明日明後日と続く寄港地の勉強が出来るとあって、会場のハリウッドシアターはほぼ満員状態です。勉強と聞くと何故か眠くなってしまう私ですが、谷岡先生のお話は時々冗談を交えながらユーモアたっぷりで、とても楽しく学ぶ事が出来ました。

夜は、今クルーズ3回目にして最後の演芸会です。まず翁家勝丸さんの曲芸を披露しながらのトーク、そこに尺八奏者のブルースさんやクルーズスタッフも加わって、最後には極め付けの芸を披露してくれました。そして、古今亭志ん彌師匠の出番です。今回はいつもの飛鳥ネタに、酔っ払いの話など、地中海に来て最初の夜にふさわしい、楽しさ満載の内容で締めくくっていただきました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ロードス

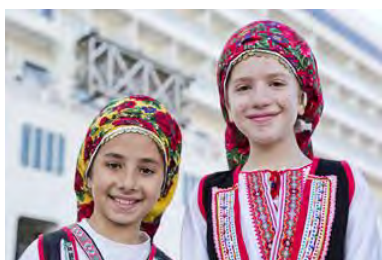
Date : 2015/04/29 緯度 : N 36度 27分 経度 : E 28度 14分 天気 : 晴れ 気温 : 16.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ロードス



飛鳥IIは予定どおり、朝7時ロードスに着岸しました。岸壁に降り立つと、地元の子供たちが民族衣装で出迎えてくれます。

古くから港湾都市国家として栄えたロードスは、世界七不思議のひとつ「ロードス島の巨像」の伝説で知られ、聖ヨハネ騎士団によって作られた旧市街地は「ロードスの中世都市」として世界遺産に登録されています。城壁に囲まれた旧市街はとても美しく、通りはところどころに玉石が敷き詰めてあったり、中世の街並みが今も残っていて、歩いているだけでワクワクするような、とても魅力的な町でした。朝は冷たかった風も、太陽が上ってくると次第に暖くなり、やがて汗ばむくらいの陽気になってきます。午後、裏通りのタベルナ（レストラン）で、美味しい魚介料理を堪能していると、いつの間に乗船時刻が近づいてきて、ロードスの楽しい滞在はあっという間に終了してしまいました。

夜は、バリトン歌手の久保和範さんによる2回目のコンサートです。今回は、特別に演歌やジャズ、ポップスなどの名曲を披露していただき、本当に素晴らしい夜となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

イラクリオン

Date : 2015/04/30 緯度 : N 35度 21分 経度 : E 25度 9分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : イラクリオン/クレタ



朝7時、飛鳥Ⅱは初寄港地のイラクリオンに着岸しました。イラクリオンはクレタ島の北側にある港湾都市で、ヨーロッパ最古の文明であるミノア文明が栄えたことで知られています。今日はそのミノア文明の遺跡「クノッソス宮殿」へ皆さんと一緒に出かけました。

オリーブ畑の間をバスが走って行くと、あっという間に遺跡の入口へ到着。ここはギリシャ神話にも出てくる、ミノス王がミノタウルスという牛頭人身の怪物を閉じ込めるために建てた迷宮と言われ、イギリスの考古学者アーサー・エヴァンスによって発見されました。およそ3700年前の宮殿ですが、ところどころリアルに復元されていて、何とも不思議な感じがします。その後、考古学博物館へ行き、オリジナルの壁画や、出土品の数々を鑑賞。ベテランの日本人ガイドさんがわかりやすく丁寧に説明して下さい、最後まで興味深く鑑賞することが出来ました。

夜はトルコ出身のピアニスト、ナキ・アタマンさんの登場です。世界21カ国の名曲の数々を60分間ノンストップで演奏するという圧巻のコンサートに、会場の拍手もなかなか止みませんでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

サントリーニ島

Date : 2015/05/01 緯度 : N 36度 26分 経度 : E 25度 24分 天気 : 晴れ 気温 : 20.0度 速度 : 10.2ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは昼前にサントリーニ島の沖合で船を一旦止めました。

サントリーニ島は、火山の爆発によって出来た三日月形の火山島で、切り立った断崖の上に白や黄色の建物がひしめき合い、それが独特な景観をつくり出しています。私は目の前に広がるこの光景をいつまでも眺めていたいと思いました。しかし、至福の時というのはそう長く続くものではありません。飛鳥Ⅱは30分ほどでドリフティングして、再びクサダシに向け航行を始めました。

そして、今夜は久しぶりのフォーマルナイトです。夕方のアペリティフタイムには、タキシードやドレス姿の皆さんがダンスを披露。夜になると、Dr.レオンさんのマジックショーが行われ、皆さんを不思議の世界へと誘いました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

クサダシ

Date : 2015/05/02 緯度 : N 37度 52分 経度 : E 27度 15分 天気 : 晴れ 気温 : 21.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : クサダシ



朝7時過ぎ、飛鳥Ⅱはトルコのクサダシに着岸しました。クサダシは、エーゲ海に面したトルコ有数のリゾート地で、近くにはギリシャ・ローマ時代の古代遺跡が数多く残されています。今日はその中でも世界最大規模を誇るエフェス遺跡へ皆さんと一緒に出かけました。

バスが海岸沿いのなだらかな斜面を走って行くと、まもなく遺跡に到着、まずは考古学博物館に入ります。ここにはエフェス遺跡から出土した1,000点あまりの品が展示されていて、中でも豊穡のシンボルとして知られるアルテミス像は、造形の美しさ、繊細さ、スケール感と、どれをとっても素晴らしいものでした。ガイドさんがしきりに「船に戻ったらアルテミス像を見たと言ってください。」と言っていたのも頷けます。

素晴らしい出土品を見た後は、いよいよ遺跡に入場です。この遺跡は保存状態が良いことで知られていますが、実際に歩いてみると、かつてここに都市が存在し、人々が生活していたのだという、生々しさのようなものを感じました。

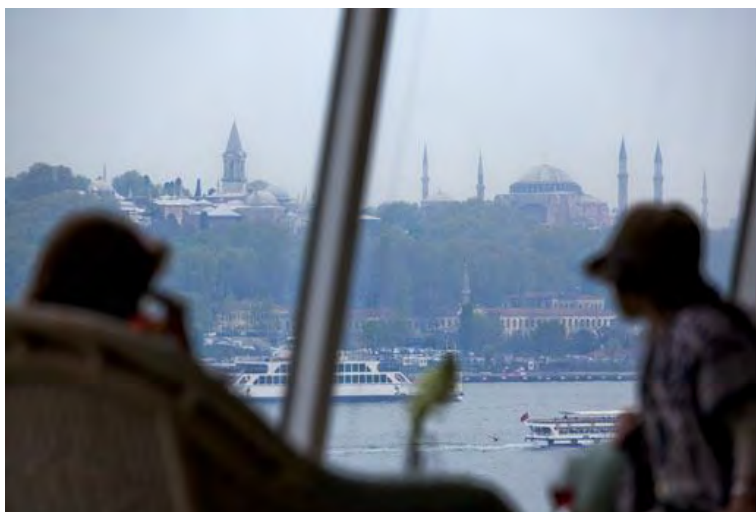
午後、海岸沿いを歩いて行き、遠くの栈橋から停泊中の飛鳥Ⅱを眺めていると、ちょうど隣に停泊していたギリシャのクルーズ船、セレスティアル・オリンピア号が出航して行きます。その後、飛鳥Ⅱは定刻通り午後5時にイスタンブールに向け出航しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

イスタンブール到着

Date : 2015/05/03 緯度 : N 41度 2分 経度 : E 28度 59分 天気 : 晴れ 気温 : 17.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : イスタンブール



朝、飛鳥Ⅱはダーダネルス海峡を通過して、マルマラ海に入ります。

その頃、ハリウッドシアターでは、小林和男先生による講演「イスラム世界との付き合い方」が行われました。

9・11は何故起きたのか？我々の常識では計り知れない部分がイスラム社会にはあり、理解は出来なくてもお互いの立場は尊重すべきだという小林先生の話は、自らの足で世界各地を取材してきた人ならではの説得力があり、興味深く、そして楽しみながら聞くことが出来ました。

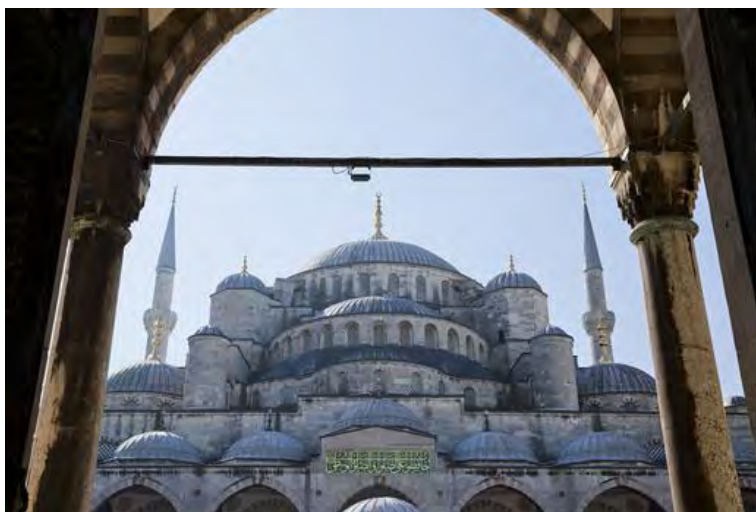
その後、雨雲が上空を通過する中、飛鳥Ⅱはボスポラス海峡の入り口に到達、トプカプ宮殿やアヤソフィア、ブルーモスクを眺めながら、予定どおり午後5時イスタンブールに着岸しました。デッキから海面を眺めていると、時折イルカが顔を出しています。もしかしたら飛鳥Ⅱの到着を歓迎していたのかも知れませんね。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

イスタンブール2日目

Date : 2015/05/04 緯度 : N 41度 2分 経度 : E 28度 59分 天気 : 晴れ 気温 : 20.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : イスタンブール



昨日は入港時に雨がパラついたり、すっきりしない天気でしたが、今日は朝から晴天に恵まれました。これまでずっと天候に恵まれて来たのは、きっと晴れ男晴れ女が多いからなのでしょう。かく言う私も、実は晴れ男なのです。

という事で、晴れ男は今日も皆さんと旧市街へ観光に出かけました。最初はヒポドロームでオベリスクを見学、その後、スルタンアフメット・ジャーミー、通称ブルーモスクに入場します。ブルーモスクの内部はかなり広く、いくつものドームが組み合わさった天井は本当に息を飲む美しさでした。そこから徒歩で移動して地下宮殿に入ります。宮殿と言っても実は地下に作られた貯水池で、内部は大理石の柱がたくさん並び、柱の一部が逆さ向きの巨大なメドゥーサの顔になっていたり、実に神秘的な場所でした。

午前の観光を終えると、再びシャトルバスで旧市街へ戻り、今度はグランドバザールへ向かいます。ここは巨大な建物の内部に小さな商店がずらりと並ぶ、いわゆる中東式の市場ですが、敷地面積は中東でも最大級と言われ、とても1~2時間で回りきれものではありませんでした。

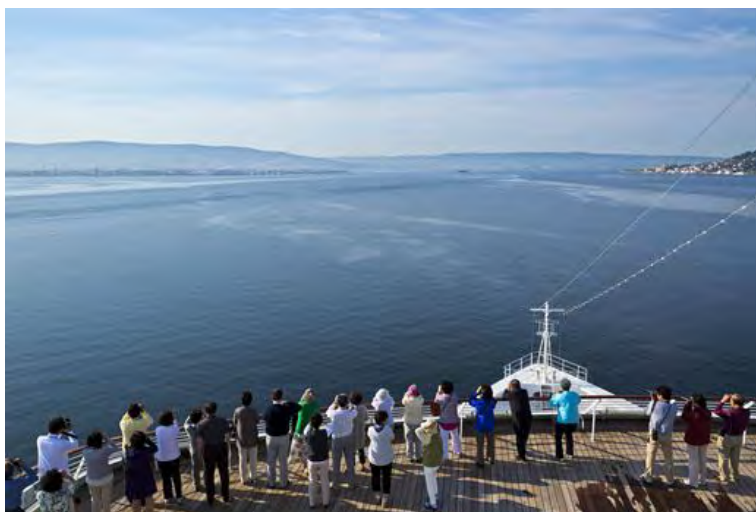
夜になると、民族衣装の男女による踊りと楽器の演奏が行われ、その後、飛鳥Ⅱはイスタンブールの夜景と満月が輝く中、ミコノス島へ向け出航しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ダーダネルス海峡

Date : 2015/05/05 緯度 : N 39度 51分 経度 : E 25度 45分 天気 : 晴れ 気温 : 18.5度 速度 : 11.6ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



マルマラ海を航行していた飛鳥Ⅱは、早朝ダーダネルス海峡に入りました。波ひとつないべた風の海面には、飛鳥Ⅱの航跡だけが続いています。

海峡の最も狭い場所にあるチャナッカレの町が近づいてくると、中村キャプテンから「左舷側にトロイの木馬が見えます。」というアナウンス。デッキに居た皆さんが一斉にそちらの方を向きますが、逆光で肉眼はおろか双眼鏡でもなかなか見つけることが出来ません。このトロイの木馬はいわゆるレプリカで、ブラッド・ピット主演の映画「トロイ」の撮影で実際に使われたものだそうです。

午後は、写真教室の後に谷岡清先生の講演がありました。今回は次の寄港地ミコノスとアテネの話で、パルテノン神殿の70メートルある床が、両端から中央部にかけて14センチほど高くなっているという話を聞き、実際にその場で確認してみようと思いました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ミコノス島

Date : 2015/05/06 緯度 : N 37度 27分 経度 : E 25度 19分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ミコノス



朝7時、飛鳥Ⅱはミコノス島の沖合に投錨しました。デッキに出てみると、温暖なエーゲ海らしく、心地良い風が吹いています。

ミコノス島は39の島々からなるキクラデス諸島のひとつで、エーゲ海ではサントリーニ島とともに人気の高い島です。ここには遺跡こそありませんが、美しい海と青い空、そして白い家がぎっしりと並び、ミコノス島ならではの独特のコントラストを作りだしていました。複雑な形状のパラポルティアニ教会、波打ち際に建物が並ぶリトルベニス、丘の上に建つ6つの風車など、どれをとっても絵になる光景ばかりで、町を歩けば迷路のように入り組んだ路地が続き、まるでおとぎの国に迷い込んでしまったような感覚です。

ここでは、皆さんと一緒に丘の上まで歩いたり、カフェでのんびり過ごしたり、海岸を歩いたり、大いに島を満喫することが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ピレウス (アテネ)

Date : 2015/05/07 緯度 : N 37度 56分 経度 : E 23度 38分 天気 : 晴れ 気温 : 26.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ピレウス



飛鳥Ⅱは早朝のまだ暗い中、ギリシャのピレウス港に着岸しました。ここからギリシャの首都アテネまではわずか30分ほどということもあり、クルーズ船以外にもフェリーや貨物船など、様々な船が出入りしています。

今日はまず、シャトルバスでアテネの中心部まで行き、すぐにアクロポリスへ向かいました。今日のアテネは予想最高気温が32度ということで、久しぶりに半袖姿です。パルテノン神殿の前に到着すると、近くに居たご婦人が、「40年前に来たときは誰も居なくて、たった一人でここに座っていたのよ。」と、当時を振り返りながら話してくれました。もちろん、一昨日の谷岡先生のお話にあった床のカーブも確認出来て大満足です。

午後はアクロポリス周辺を歩いて回り、国会議事堂前で衛兵の交代を見学してから船に戻りました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

アドリア海へ

Date : 2015/05/08 緯度 : N 38度 11分 経度 : E 20度 7分 天気 : 晴れ 気温 : 21.0度 速度 : 18.0ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは地中海上をアドリア海へ向けて航行中です。

そんな中、小林和男先生の講演「ウクライナ後のロシアの世界戦略と日本」がハリウッドシアターで行われました。

海外ではあまり評判のよろしくないロシアのプーチン大統領ですが、国内では90%という圧倒的な支持率を誇っています。人気の秘密は何なのか。それはロシアがこれまで経験してきた領土問題の歴史とナショナリズムが関係していると小林先生は言います。そして、小林先生がプーチン大統領と面会した時、就任したばかりの胡錦濤国家主席を待たせていながら、柔道の話で盛り上がっていたというエピソードはとても印象に残りました。

夜は、日本ジャズ界の重鎮、猪俣猛さん率いるジャズカルテットのコンサートが開かれました。ドラムの猪俣猛さんに、テナーサックス・クラリネットの右近茂さん、ピアノが青木弘武さん、ベースが成重幸紀さんというメンバーで、オープニングはアラウンド・ザ・ワールド、続いてギリシャつながりということで映画ネバー・オン・サンデーから、そして右近さんのボーカルで「振り向けば飛鳥」というオリジナルソングを披露していただき、ラストはテイクファイブで終了。心地良いスウィングのリズムに酔いしれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ドブロヴニク

Date : 2015/05/09 緯度 : N 42度 40分 経度 : E 18度 5分 天気 : 晴れ 気温 : 20.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ドブロヴニク



朝7時、飛鳥Ⅱがドブロヴニクに入港すると、これまでの寄港地とは違い森の香りが漂っていました。山が近いからでしょうか。

「アドリア海の真珠」と謳われるドブロヴニク旧市街は、1979年にユネスコの世界遺産に登録されますが、1991年のユーゴスラビア紛争で壊滅的な被害を受け、現在の旧市街は戦後に復元されたものです。そのせいか、街中は整備が行き届いていて、他の旧市街地より歩きやすく感じました。

街を歩いた後は、ロープウェイでスルジ山の山頂へ向かいました。山頂のカフェで暫く休んでいると、となりの山から黒い雲が現れ、そのうちに雷鳴も聞こえてきます。慌てて旧市街まで引き返しますが、途中ポツリポツリと雨が落ちて来て、最後は土砂降りになってしまいました。商店の前で雨宿りをしていると、小さな子供が仲良く相合傘で通り過ぎて行きます。今回のクルーズは、これまでずっと好天に恵まれてきましたが、とうとう11番目の寄港地ドブロヴニクで雨となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

スプリット

Date : 2015/05/10 緯度 : N 43度 30分 経度 : E 16度 26分 天気 : 晴れ 気温 : 26.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : スプリット



飛鳥Ⅱは予定通り朝7時にスプリット沖で投錨を行いました。

この町の起源は、ローマ帝国が滅亡した際、避難してきた異民族が宮殿の上に住宅を建てたことから始まります。その結果、古代と中世の建物が混在するという、特異な街並みが形成されていくこととなりました。

現在スプリット旧市街はユネスコの世界遺産に登録されていますが、同じ世界遺産のドブロヴニクとは違い、ここでは人々の営みが強く感じられます。船員の時に日本へ行ったことがあるという老人、採取した野生のアスパラガスを味見させてくれた女性、カフェで遊んでいた子供達など、心優しい人々との出会いも印象的でした。

夜はギャラクシーラウンジでクラシックコンサートです。今回はヴァイオリンにペーター・ヴェヒター氏、チェロにヨナーシュ・クレイチャー氏、そしてピアノに後藤泉さんというメンバーで、ウィーンの名曲の数々を披露していただき、大変優雅なひとときを過ごすことが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ベニス

Date : 2015/05/11 緯度 : N 45度 26分 経度 : E 12度 18分 天気 : 晴れ 気温 : 23.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ベニス



飛鳥Ⅱがサンマルコ運河にさしかかると、大勢の人がデッキに出てきました。恐らく、これ以上ドラマチックな入港シーンは他にないからでしょう。

水の都ベニスは、アドリア海の最も奥にあるヴェネツィア湾の潟（ラグーナ）に築かれた水上都市で、150を超える運河が177の島を分け、そこに400にも及ぶ橋が架けられています。地上は非常に狭く入り組んだ路地ばかりのため、移動手段はもっぱら船か徒歩に限られ、バイクや自動車は乗り入れ出来ません。そういう特殊な環境が、ベニスを魅力的な場所になっているのでしょう。今回は、有名なサンマルコ寺院とリアルト橋が工事中ということでがっかりしましたが、楽しそうに散策している皆さんを見ていたら、そんなことはもうどうでも良くなってしまいました。

ボンボヤージュでは猪俣猛さん率いるジャズカルテットの演奏があり、その後、飛鳥Ⅱは出航時と同じように運河を通って行きました。区間乗船の方も加わって、朝より多くの方がベニスの街並みを眺めています。そして、皆さんとお話ししているうちに、ベニスはこうして船の上から眺めるのが一番だという結論に達しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

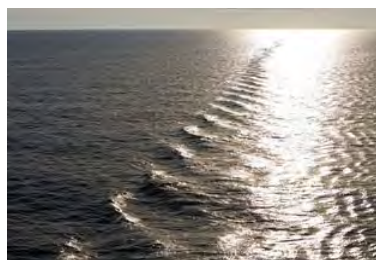
船上のジャズコンサート

Date : 2015/05/12 緯度 : N 43度 3分 経度 : E 15度 12分 天気 : 晴れ 気温 : 20.5度 速度 : 11.6ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはアドリア海を南へ航行中です。イタリア半島をブーツに例えると、ちょうど踵の上の出っ張ったあたりでしょうか。

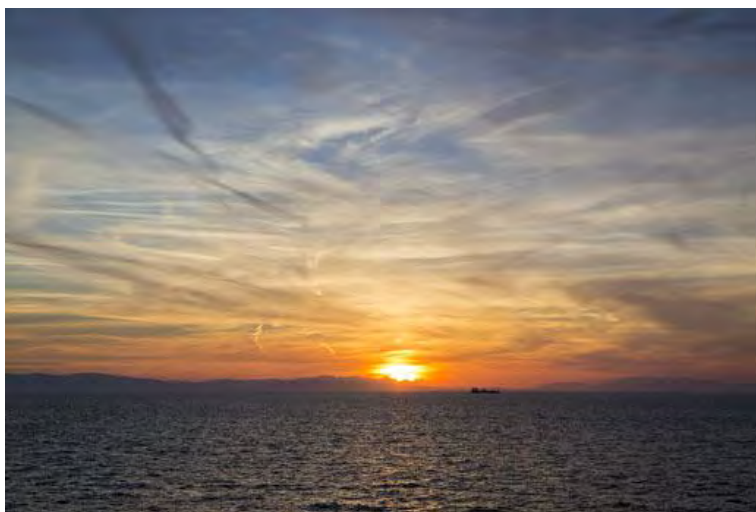
今日はこれといったイベントも無く、寄港地続きでお疲れの皆さんにとっては、ちょうど良い休暇になったと思います。そんな中、ギャラクシーラウンジでは猪俣猛さん率いるジャズカルテットの2回目のコンサートが開かれました。今回は「4月の思い出」から始まり、ラストはオリジナルソングの「振り向けば飛鳥」を皆で合唱です。世界一周のゴールはまだまだ先ですが、猪俣さんたちにとっては今日が最後のコンサートということで、私は歌詞を聞きながらちょっぴり切ない気持ちになりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

カクテルコンペティション

Date : 2015/05/13 **緯度** : N 39度 39分 **経度** : E 18度 26分 **天気** : 晴れ **気温** : 19.0度 **速度** : 11.7ノット
海域 : 地中海 **寄港地** : 終日航海日



飛鳥Ⅱはイタリア半島の南側、イオニア海上を航行中です。

そんな中、船上では飛鳥Ⅱのベテランバーテンダーたちが腕を競い合う、カクテルコンペティションが開かれました。出場したのは、マリナーズクラブの田中満宏氏、ビスタラウンジのレルビン氏、ピアノバーのオリバー氏、クラブスターズのスロボダン氏の4人です。試飲した人の投票によって勝者が決まるということで、私も投票に参加しましたが、どれも甲乙つけがたく、なかなか決めることが出来ません。中には何度も試飲しているうちに酔ってしまったという方もいらしたようですが・・・。結果は、アルコールカクテル部門がレルビン氏で、ノンアルコールカクテル部門は田中氏が優勝を勝ち取りました。

カクテルコンペティションの後、デッキに出てみると、ちょうどイタリア半島の向こうに夕日が沈んでいくところでした。船はこの後メッシーナ海峡に入り、明日の朝にはシチリア島に到着する予定です。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

メッシーナ

Date : 2015/05/14 緯度 : N 38度 12分 経度 : E 15度 34分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : メッシーナ



飛鳥Ⅱは予定通り午前7時にメッシーナ港に着岸しました。

シチリア島北東部の町メッシーナは、メッシーナ海峡を挟んでイタリア本土のカラブリア半島との間をフェリーが往来する島の玄関口。そのメッシーナから、今日はイタリアきってのリゾート地タオルミナへ皆さんと一緒に出掛けてみました。

タオルミナは青く輝くイオニア海と世界遺産のエトナ山が望める風光明媚な場所にあり、欧州の人たちにとっては憧れのリゾート地として良く知られています。町は目抜き通りのウンベルト通りを中心にショップやレストランが並び、高台にある古代の円形劇場からは、雪を抱いた標高3323mのエトナ山とタオルミナの町並みが一望出来ました。エトナ山の山頂付近を良く見ると、火口から僅かに噴煙が上がっているのが確認出来ます。実はメッシーナに到着する2時間前の朝5時頃、私はエトナ山から流れ出る赤い溶岩を船上から眺めていました。その事をガイドさんに話したら「シチリアに住んでいても滅多に見られませんよ。」と言うので、早起きしてそれをご覧になった皆さんは、私を含めとてもラッキーだったという事になります。

夕方、メッシーナのドゥオーモの前で写真を撮っていると、近くに居たご婦人方が、ここの鐘楼にはからくり時計が組み込まれているのだと説明してくれました。しかしそれは一日に一度、正午にしか見ることが出来ません。もしも私がここを再び訪れる事が出来たら、その時は是非見ておこうと思いました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

講演会とクラシックコンサート

Date : 2015/05/15 緯度 : N 40度 29分 経度 : E 12度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 22.5度 速度 : 13.7ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはティレニア海上を北に向けて航行中です。

そんな中、小林和男先生の講演「ロシアの力の裏にあるもの」がハリウッドシアターで行われました。今回はロシアの原動力の裏に女性と文化の力があったという内容で、後半、ゴルバチョフ大統領とライサ夫人がクーデターで軟禁状態になり、その時に録画したテープを小林先生の奥様が身体に巻きつけてパリまで運んだというエピソードは、とても印象的でした。

午後には、谷岡清先生による美術講座「ルネサンス美術の宝庫フィレンツェ」がハリウッドシアターで開かれました。

明日の寄港地リボルノは、フィレンツェと同じトスカーナ州にある港町です。ここまで来てフィレンツェの美術作品を見ずには帰れないということでこの講座が開かれたわけですが、谷岡先生があまりに詳しく説明して下さるので、講座が終わった頃には、すっかり見てきたつもりになってしまいました。そして夜にはペーター・ヴェヒター、ヨナーシュ・クレイチャー、後藤泉さんによるクラシックコンサートが開かれ、今回はヨハン・シュトラウスⅡ世の「南国の薔薇」から始まり、最後はベートーヴェンのピアノ三重奏第4番「街の歌」からと、素晴らしい選曲と演奏で締めくくっていただきました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

リボルノ

Date : 2015/05/16 緯度 : N 43度 33分 経度 : E 10度 18分 天気 : 晴れ 気温 : 21.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : リボルノ

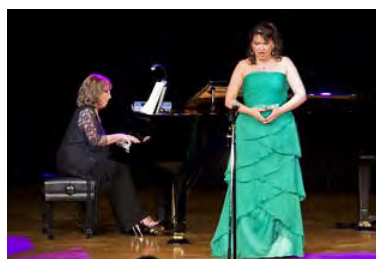


飛鳥Ⅱは予定通り朝7時にトスカーナ州のリボルノへ入港しました。

今日の天候は、曇り時々晴れ、一時雷雨という予報のため、折りたたみ傘を持って皆さんと1日ツアーに出掛けます。

最初はピサの町に到着。ピサと言えば斜塔が有名ですが、天文学者ガリレオ・ガリレイの出身地としても知られ、その他にもピサ・ロマネスク様式の最高傑作と言われるドゥオーモや、音響効果が素晴らしい洗礼堂など、非常に見どころの多い場所でした。その後バスは1時間ほどで花の都フィレンツェに到着します。バスを降りて最初に向かったのはドゥオーモでした。フィレンツェのドゥオーモは別名サンタ・マリア・デル・フィオーレ（花の聖母寺院）と呼ばれ、フィレンツェを象徴する建物として知られています。凝った外観のわりに内部はすっきりとしていて、そのぶんクーボラの内側に描かれたフレスコ画「最後の審判」はものすごくインパクトがありました。

レストランで昼食を食べた後は、宝石店が軒を連ねるヴェッキオ橋を見学して、小雨が降ってきたところで彫刻作品が並ぶランツィのロジアで雨宿り。ミケランジェロ広場に到着した頃にはすっかり雨も上がり、皆さんとフィレンツェの町を一望することが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ルーブル美術館とパシオン・エスパニョーラ

Date : 2015/05/17 緯度 : N 42度 28分 経度 : E 6度 36分 天気 : 晴れ 気温 : 19.0度 速度 : 12.1ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは南仏の沖合をバルセロナに向けて航行中です。

そんな中、谷岡清先生による美術講座「世界最大の美の殿堂・ルーヴル美術館」がハリウッドシアターで開かれました。

エッフェル塔の話から始まり、ミロのヴィーナス（アフロディーテ）を始めとするアフロディーテ彫刻作品の比較や、3枚のモナリザの比較、そしてラファエロによるモナリザの模写スケッチなど、ルーブル美術館に収蔵されている作品だけでなく、各地のものと比較した解説がとても面白く、あっという間に時間が経ってしまいました。

夜は、ギャラクシーラウンジで、ナンシー・ルース・トリオ・パシオン・エスパニョーラのコンサートが行われました。

圧倒的な歌唱力のナンシーさんですが、これにフラメンコギターとラテンパーカッションが加わり、独特の高揚感を与えてくれます。後半のベサメムーチョの時には、突然バックにアスカオーケストラが登場して、思わず「ベサメムーチョ！」と叫びたくなるような素晴らしい演出でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

バルセロナ

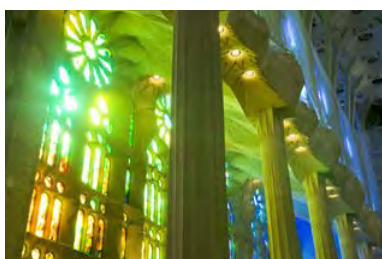
Date : 2015/05/18 緯度 : N 41度 22分 経度 : E 2度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 21.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : バルセロナ



飛鳥Ⅱは予定通り朝7時にバルセロナ港に到着しました。

バルセロナはスペイン北東部に位置するカタルーニャ州の州都で、スペイン第二の都市、あるいはFCバルセロナの本拠地として知られ、建築家アントニ・ガウディの作品が多いことでも有名です。今日はそのガウディの作品群を堪能するため、皆さんと一緒に市内観光へ出掛けてみました。まずは、グラシア通りのカサ・パトリヨ、カサ・ミラといったガウディの代表的な建築物を車窓から眺め、サグラダファミリア（聖家族教会）に到着します。この教会は1882年から始まった建設工事が今も続いている、完成するのは11年後の2026年ということでした。近付いてみると、まずその大きさに圧倒されますが、外壁の緻密な作りも見逃せません。この時は、ちょうど朝の光がステンドグラスに当たり、教会内で幻想的な光景を作り出していました。サグラダファミリアの次は、山の手地区にあるグエル公園に向かいます。ここはガウディが実業家グエル氏のために設計したもので、ガウディらしい自由奔放なデザインが各所に散りばめられていました。そして最後はモンジュイックの丘からバルセロナの町を眺めます。今日は風の強い一日でしたが、雲ひとつない快晴で、眼下には我々が飛鳥Ⅱの姿も眺めることが出来ました。

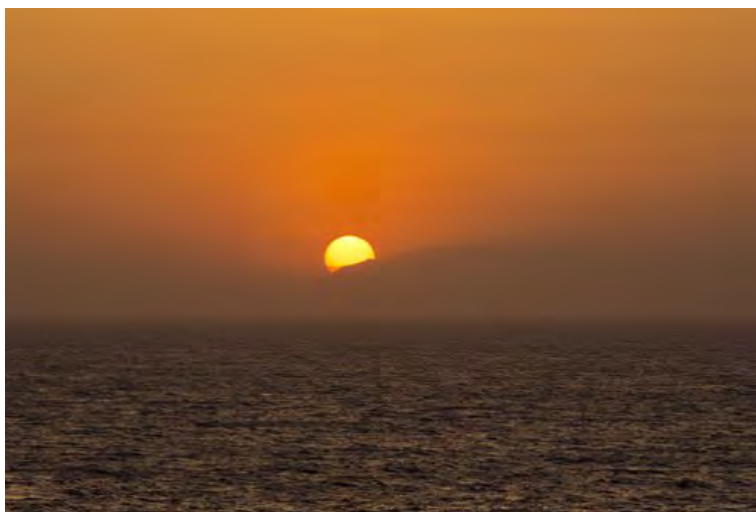
夜には、ギャラクシーラウンジでローカルショーが行われ、地元バルセロナのグループが素晴らしいフラメンコの踊りと演奏を披露してくれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

東から西へ

Date : 2015/05/19 緯度 : N 37度 45分 経度 : W 0度 25分 天気 : 曇り 気温 : 21.0度 速度 : 16.8ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは朝9時半頃にグリニッジ天文台を起点とする経度0地点を通過しました。これによって、今まで東経と表示されていた経度が西経に変わり、ずいぶん遠くまでやって来たなあ実感しているところです。

夜になると、ギャラクシーラウンジでパトリック・ヌジェさんのシャンソンコンサートが開かれました。シャンソンと言えばフランス語の歌ですが、途中から歌手のあみさんが加わって、橋幸夫と吉永小百合のデュエット曲「いつでも夢を」では皆さんと合唱、アンコールには、ポール・モーリアの名曲「恋は水色」が披露され、楽しいコンサートとなりました。

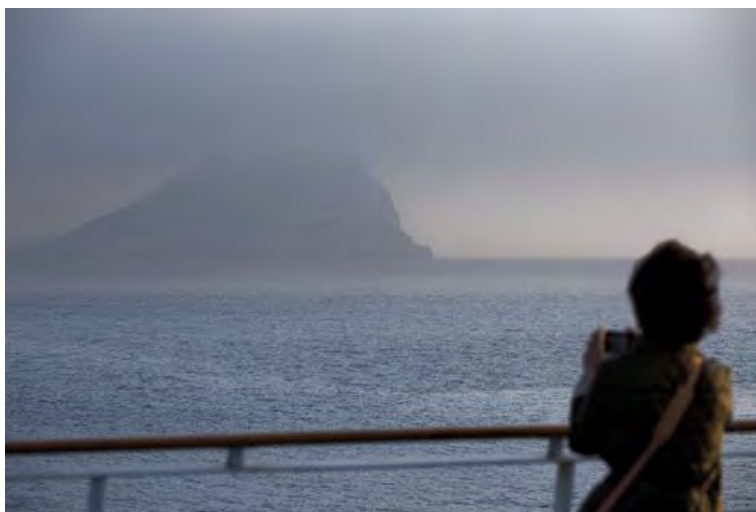
コンサートの後デッキに出てみると、ちょうどイベリア半島に夕日が沈むところでした。4月28日のスエズ運河通峡以来ずっと地中海各地を巡って来ましたが、いよいよ地中海とは今日でお別れです。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ジブラルタル海峡

Date : 2015/05/20 緯度 : N 36度 4分 経度 : W 6度 45分 天気 : 晴れ 気温 : 20.5度 速度 : 13.6ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは朝7時過ぎにジブラルタル海峡に入りました。

右舷側には雲で霞んだヨーロッパ大陸、そして左舷側にはくっきりとアフリカ大陸が見えています。海峡の最も狭い箇所は、イベリア半島最南端のタリファ岬とモロッコのアルカサル・エ・セリル間の14キロで、地図上ではとても狭く見えますが、実際はかなり広い海域でした。また、この海峡は古来より戦略的に重要な位置付けがなされてきたため、現在、北岸のジブラルタルには英国軍が、南岸のセウタにはスペイン軍が駐屯しているという、若干キナ臭い場所でもあります。

船が大西洋上に達し、午後には谷岡清先生による美術講座「ポルトガルが変えた！日本の歴史と美術」がハリウッドシアターで行われました。日本とポルトガルの関係といえば、種子島に漂着したポルトガル人の火縄銃から始まり、イエズス会フランシスコ・ザビエルの来日など、日本の歴史に多大な影響を与えたことで知られていますが、芸術の分野でもかなりの影響があったという話です。狩野内膳の南蛮屏風から平賀源内や葛飾北斎といった江戸時代の巨匠に至るまで、いかにして日本の美術が西洋の影響を受けていったか、今回も興味深い解説で楽しませていただきましたが、残念ながら谷岡先生の講演は今回で最後となりました。

夜は、スペインで活躍するバレエグループ、マエストランサのショーが行われ、フラメンコの情熱的なサウンドと、芸術的な踊りを楽しむことが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

リスボン

Date : 2015/05/21 緯度 : N 38度 42分 経度 : W 9度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : リスボン



飛鳥Ⅱは、予定通り午前7時にリスボン港に到着しました。

ポルトガルの首都リスボンは、イベリア半島西側のテージョ川河畔に位置するヨーロッパ大陸で最も西にある都市で、起伏の激しい地形から「七つの丘の街」とも呼ばれています。

今日はそんなリスボンを満喫するため、皆さんと市内観光へ出かけてみました。まず最初にベレンの塔を見学して、次に向かったのは発見のモニュメントです。ここは1960年にエンリケ航海王子の500回忌を記念して作られたもので、大航海時代を切り開いたポルトガルの偉人たちがずらりと並んでいました。そこから4月25日橋を歩いて対岸へ渡り、今度は高さ110メートルのキリスト像がそびえ立つキリスト・レイからリスボンのパノラマを楽しめます。ジェロニモス修道院では、コーチンで永眠したヴァスコ・ダ・ガマの石棺や、マヌエル様式の最高傑作と言われる回廊などを見学。約1世紀の歳月をかけ完成したという建物は、まさに大航海時代の栄華の象徴と言えるものでした。そして、いよいよ次はファド鑑賞です。ファドとは、運命あるいは宿命を意味する言葉で、ポルトガルを代表する民族歌謡のことです。通常は夜しか営業していないカサ・デ・ファドと呼ばれるレストランで、昼食をいただきながら哀愁漂うファドの歌と演奏を楽しむことが出来ました。

帰り道、バスの車窓から紫色の花をつけた街路樹を眺めていたら、ガイドさんが「ジャカランダの花ですよ。」と教えてくれました。今はまだ三分咲きですが、一週間後にはきっと満開を迎えていることでしょう。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ワイン講座とパシオン・エスパニョーラ

Date : 2015/05/22 緯度 : N 40度 0分 経度 : W 9度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 16.0度 速度 : 8.6ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日

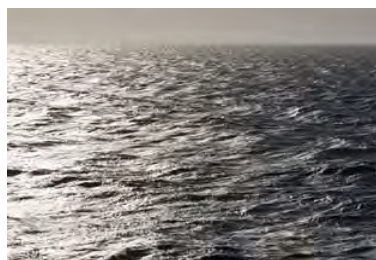
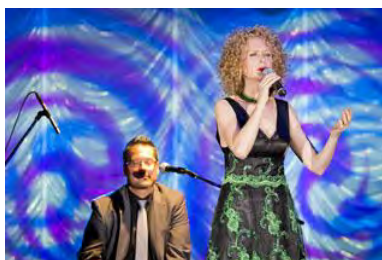


飛鳥Ⅱはイベリア半島西岸の沖合を北へ航行中です。

そんな中、玉村豊男先生による講演「ワインの世界～スペインとポルトガルをめぐって」がハリウッドシアターで開かれました。中央アジア原産のぶどうが地中海沿岸に広まり、保存食としてワインが造られるようになったという話。そこからどのようにして今日のワイン文化が築かれていったかということまで、ワインに目がない私にとっては、とても興味深い内容でした。

夜は、ギャラクシーラウンジで、ナンシー・ルース・トリオ・パシオン・エスパニョーラの2回目のコンサートが行われました。今夜も、透き通るような美しい歌声のナンシーさんと、スパニッシュギターのルイスさん、そして、パーカッションのパキートさんというメンバーです。今回は、ナンシーさんが「涙そうそう」を突然日本語で歌い始めると、皆さんも一緒に合唱したり、後半にはアスカ・オーケストラも加わって、本当に素晴らしいステージとなりました。

午後8時、デッキに出てみると、まだ十分に日が高く、海面が黄金色に輝いていました。今日の日没時刻は21時56分、ヨーロッパ西部の夜はこれからです。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ビーゴ

Date : 2015/05/23 緯度 : N 42度 15分 経度 : W 8度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 16.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ビーゴ



飛鳥Ⅱは予定通り朝7時にビーゴ港に到着しました。

スペイン最大の漁港を持つビーゴは、岬と入江が複雑に入り組んだリアス式海岸の湾の中にあり、周辺はスペイン有数の漁場として知られています。町は1816年に建てられたロマネスク様式のサンタ・マリア聖堂をはじめ、旧市街に趣のある建物が並んでいました。その旧市街から南へ長い坂を登っていくと、フェリペ4世によって築かれたカストロ城の城塞跡にたどり着きます。ここは高台からビーゴ湾が一望できるとあって、地元の人たちがたくさん遊びに来ていました。商店が店を閉める午後2時頃になると、今度はバル（居酒屋）が賑わい始めます。旧市街のバルでは、ほとんどの人がワイングラスを片手に会話を楽しんでいたのですが、4時を過ぎると皆どこかへ消えてしまい、町はあっという間に閑散としてしまいました。

夜になると、船内では恒例のカジノナイトが開催されました。

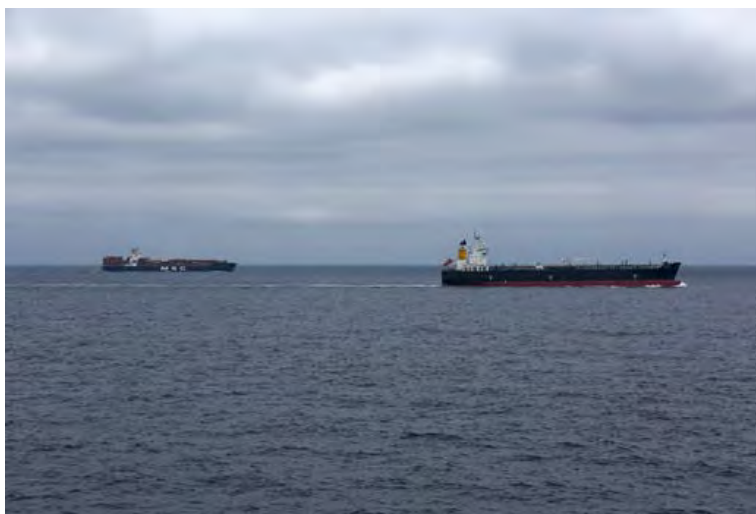
皆さん、何とか元手を増やし、飛鳥グッズをゲットしようと頑張りますが、やはり欲が出ると運も逃げてしまうのか、なかなか思うようにはいきません。様々なキャラクターに扮したスタッフとともに、大変盛り上がった夜となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ビスケー湾

Date : 2015/05/24 緯度 : N 45度 10分 経度 : W 8度 22分 天気 : 曇り 気温 : 15.0度 速度 : 12.1ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはイベリア半島西側のビスケー湾を航行中です。

ビスケー湾はブルターニュ半島とイベリア半島に挟まれた海域で、湾奥に流れ出すジロンド川流域には、高級ワインの産地で有名なボルドーがあります。また、この辺りの海域は良く荒れることで知られ、今日は今航海では珍しく全天曇りですが、比較的穏やかな航行となりました。

そんな中、猪原紘太先生の講演「地図を楽しむ1～伊能忠敬に学ぶ」がハリウッドシアターで開かれました。今回は、200年前の伊能図がどのようにして作られたのか、とてもわかりやすく説明していただき、改めてその凄さを理解する事が出来ました。

夜はギャラクシーラウンジでマリオネットのコンサートがありました。マリオネットはポルトガルギター奏者の湯浅隆さんとマンドリン奏者吉田剛士さんのデュオグループで、12弦のポルトガルギターとマンドリンの音色が複雑に絡み合い、独特の哀愁を感じさせてくれます。コーチンで永眠したヴァスコ・ダ・ガマや、谷岡先生の講演で見たリスボン国立古美術館所蔵の南蛮屏風絵など、今回のクルーズで見てきた様々な事象を思い起こしながら聞き入っていました。

